



森友学園問題 府議会で参考人質疑

「私学審のチェック体制の強化を求める」

3月23日、学校法人森友学園の小学校認可をめぐる問題で府私立学校審議会の梶田叡一会長に参考人質疑を行いました。今後、再発防止の一環として、私学審議会の委員の任命について「教育長が判断するが、今回の件では、財務状況について懸念する意見が多かったことから公認会計士など会計の専門家を委員に加えるべき」と訴えました。梶田会長は「非常に大事なこと」と述べました。その後、府教育長は3月27日、審議会の委員に公認会計士を加える方針を明らかにしました。（※裏面にも関連記事があります。）



働き方改革の推進を！ 3月22日 総務常任委員会 知事質問より



働く女性の増加や介護・育児などの様々な要件を抱える者が増える中で、ワーク・ライフ・バランスの確保が求められています。「職員のワーク・ライフ・バランスを実現していくには、知事をトップに働き方改革推進本部を設置し、働き方改革を強力に推進すべき」と質問。松井知事は「今後、職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、全庁横断的な推進体制を整備し、業務の効率化と働きやすい職場環境づくりに取り組んでいく」と述べました。また、肥後府議は「より一層柔軟な働き方を進めるためにフレックスタイム制の導入を検討すべき」と提案しました。



依存症対策 抜本強化を！ 国立病院機構 久里浜医療センター訪問



ギャンブル依存症対策の課題を探るため、神奈川県横須賀市にある「独立行政法人 国立病院機構久里浜医療センター」を訪問し、樋口進院長、臨床心理士の担当者からギャンブル依存に対する医療的側面、依存症における認知行動療法の状況について意見交換をしました。今後、様々な関係機関と連携を図りながら対策を強化していきます。

先進的ながん治療拠点が生誕へ！ 大阪国際がんセンターが開院

日本トップ級の放射線治療設備を備えた、大阪府立病院機構「大阪国際がんセンター」（旧府立成人病センター）が3月25日、大阪市中央区大手前に移転・開院しました。肥後府議は開院前に同センターを訪れ、最先端放射線治療装置「リニアック」をはじめ、手術室やICU、病棟などを見て回りました。1年後には隣接地に治療効果の高い「重粒子線施設」がオープンします。公明党はこれまで最先端治療の導入やがん患者の就労支援、アピアランス（外見）支援など総合的ながん対策の充実を訴えてきました。今回の新施設誕生は手術や放射線治療を待っている多くの患者に朗報であり、がんになっても働ける支援体制づくりを推進していきます。

